

三和分校

PTAだより

福知山高校

三和分校PTA

令和7年

2月28日

祝 御卒業

― 個を活かし、公に生きる ―

校長 藤田 浩

PTA会員の皆様には、日頃から三和分校の教育活動に御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

2月28日に令和6年度卒業式を迎え、卒業生は次のステージへ向かって巣立っていきます。卒業生ならびに保護者の皆様には、あらためて心よりお祝い申し上げます。

この一年を振り返ってみますと、感染症対策や熱中症対策に苦慮したところが多かったものの、生徒は精一杯、勉強、学校行事等の学校生活を送ってくれました。

農業科では、農業クラブ連盟大会の意見発表、「田舎力甲子園」などにおいて、良い成績を収めました。また、家政科では、食品加工室(M

VP)を活用し、本校独自の製品の開発に意欲的に取り組むとともに、様々なコンテストにも挑戦しました。特に、ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会で昨を上回る銀賞1、銅賞2という大きな成果をあげました。新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症との戦いは続いています。また、令和6年熊谷半島地震から1年、阪神淡路大震災から30年を迎え、災害への危機対応が一層必要とされています。次々と想定外の出来事が起こる今の時代、将来を見通すことが困難で、“正解のない”時代を力強く生き抜くためには、自分の意志・判断、責任を持つて行動する「主体性」、色々なものがあふれる「変化に富んでいること」を受け入れる「多様性」、異なる強みを持つ者が、責任と役割を分担しともに汗を流して、成果を共有する「協働性」を持ち、課題を解決していくことが必要となります。生徒には、学校生活を通して様々なことにチャレンジし、5K力を「感じる

力」「考える力」「行動する力」「関わる力」「向上する力」を伸ばし、「汎用的能力」(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等)を身に付けてほしい。そして自らの強み(個)を活かし、人のため、社会のため(公)に生きる人として、ウェルビーイングに貢献できる人となってほしいと思います。

そのような思いで、今年度これまでの式辞の中で、私が生徒の皆さんに話してきた一部を紹介します。

○学校生活において、「自分の個性を自覚する」「自分の限界を自覚する」「共生と共に生きることを自覚する」の3つの自覚を養ってほしい。

○「何が課題か」「何を目的にするのか」を見つける力が問われる。自ら問いを立てて、「いかにやるか」ではなく「何をやるか」を見つけるためには、何でも自分でやってみて、試行錯誤することが必要となる。失敗するのは当たり前で、失敗と修正を何度でも繰り返し、そこから発見が生まれる。試行錯誤が大切である。

○スポーツマンとは「Good

「flow」(よき仲間)のこと。スポーツマンには、①「尊重」…自分以外のすべての人(相手、仲間、審判)やルールを大切に、許容する気持ち。②「勇氣」…失敗を恐れず自ら責任をもって決断、行動、挑戦する気持ち。③「覚悟」…勝利を目指し、困難を受け入れ、自ら全力を尽くして最後まで愉しむ気持ちの3つが大切である。責任をもって決断する勇氣や勝利を目指して自ら全力を尽くしてやり抜き、愉しむ覚悟は、自らの成長や研鑽を実現していくこととなり、総合的な人間力をつけることにつながる。

○「命」時間。命とは時間であり、人生は有限である。限られた時間の中で「志」を高く持ち、世の中を変える。志は自分のためではなく人のために自分の力を出すことであり、「夢」とは違う。若い時こそ世の中を変える力がある。

中学・高校の学びは、「解決能力」と「教養」を身に付ける。何事においても最後にものを言うのは「人間力」である。人間力の高い人のところには人が集まる。人と人とのつながりを大切にして、人を引き付ける力(Gravty「重力」)を持つて生きることが大切。中学・高校で身に付けた教養が人を引き付ける力

(Gravity「重力」)となる。(ECMO
治療の第一人者 本校卒業生
竹田晋浩先生の言葉)

○「自分の可能性を愉しむ」姿勢を
持つこと。そのためのポイントは、
①自分の可能性を信じる。②失敗を
恐れない。③日々の中で小さな喜び
を見つける。④他者との交流を大切
にする。⑤未来を楽しみにする。自
分の可能性を愉しむことは、人生を
より自由で豊かなものにする。それ
は特別な才能や環境が必要なわけ
ではなく、今の自分を受け入れ、
日々の中で一歩ずつ進むことから
始まる。

結びに、PTA会員の皆様方には、
本校の教育活動に対する御理解・御
協力を心よりお願い申し上げます
とともに、皆様のますますの御健勝
をお祈りし、御挨拶いたします。

「贈る言葉」

四年担任 高橋 幸子

卒業生のみなさん、保護者の皆様、
御卒業おめでとうございます。三和分
校の教育活動に御理解と御協力をいた
だきまして、今日の卒業の日を迎えら
れましたことを心から御祝い申し上げ

ますとともに御礼申し上げます。会員
の皆様にはPTA役員会をはじめ、学
校行事等に御参加・御尽力いただきま
して、無事卒業生を送り出せましたこ
とご報告申し上げますとともに感謝申
上げます。

卒業生のみなさんは福知山高校三和
分校での4年間の高校生活を終え、新
たに始まる生活に希望と不安が入り交
じっていることでしょう。卒業の喜び
はみなさんの努力の結実であり、また、
これまでの保護者の皆様をはじめ地域
の方々の限らない慈しみと深い御理解
御指導の賜であることを忘れないでく
ださい。

4年間を振り返りますと、農業科の
みなさんは夏に暑い温室と冬は凍える
ような山の上の屋外での実習や作業の
なか、研究発表や販売実習に頑張りが
ました。家政科のみなさんは農業科との
コラボ生産物を研究し、制作販売など
を頑張り、各学科ともたくさんの表彰
を受けるほど努力の結果を残されまし
た。4年間でのみなさんの成長は自信
へとつながりましたね。

日々さまざまなスピードで移りゆく、混
沌とした社会情勢の中、みなさんがこ
れから生きていく社会には様々な問題
が待ち構えています。決して平坦な道
ではありませんが、三和分校で培った
知識と、人と自然を大切にする豊かな
心で一歩ずつ歩いて行ってください。
担任をする中でみなさんが夢を語って
くれました。困難にぶつかったとき、
周囲の状況を冷静に判断し、三和分校

で学び、チャレンジしたこと、また友
人たちを思いだし、自分で考えて行動
してください。今後も、広い世界で多
くの経験を重ね、人との出会いの中で
新たな世界を知り、自分の人生を切り
開くための努力を怠らないでほしいと
思います。そして夢を叶えることので
きる力を持つてください。みなさんの
健闘を祈り、大いなる躍進と御活躍を
期待して贈る言葉とします。

本年度の進路状況

進路指導部長 荻野 佳代子

PTA会員の皆さまには、生徒の進
路実現に向けての取組に御理解と御協
力を頂き、まことにありがとうございます。

三和分校では自分の進路を「自分で
選ぶ」、「自分で決める」ことに重点を
置き、進路指導をしています。

人にはそれぞれの個性があるように
進路決定においても、生徒一人ひとりの
ペースやタイミングがあります。今
年度の卒業予定の四年生の中には地元
で就職・進学する生徒、地元を離れて
専門的なことを学びたいと決めた生徒
自分と向き合い進路について悩んでい
る生徒もいます(二月十四日現在)。

自分自身を見つめ、自分に何ができ
るのか、何が苦手なのか、どんな人生
を歩んでいきたいのかをじっくりと悩
み、考えてほしいと思います。しかし、

一人で悩むのではなく、家族や友人、
先生に相談をしてください。そのする
ことで自分の考えを整理することがで
きるだけでなく、自分の考えを他者と
共有し、アドバイスを受けることがで
きます。これが、進路のミスマッチを
回避することにつながります。

とは言っても、自分の考えを明確に
持っている生徒もいれば、自分の考え
をまとめることや人に伝えることを苦
手とする生徒もいるかと思えます。だ
からこそ、「四年生になってからでいい
や…」ではなく日頃から、「自分の考え
をまとめ、人に伝える」ことを心掛け
てほしいと思います。また、インター
ンシップや職場見学、オープンキャン
パスにも積極的に参加してほしいと思
っています。そしてたくさんの情報を
集め、自分の進路決定の材料とする事
が、卒業後の自分の進路につながるか
らです。

希望進路の実現に向けてご家庭でも
卒業後の進路について話題にしてい
ただき、親子で考える時間をつくって
いただきますよう、よろしく願いた
します。

PTA会員より

卒業おめでとう

いれこもち

四年生保護者

この日を一緒に迎える事ができる事を大変嬉しく思います。

長いようで短かった四年間の学校生活でも、たくさん思い出があります。入学した日のことは、今でも鮮明に覚えています。緊張しながら、正門をくぐったあの時の姿、友達ができるかな。クラスでは馴染めるかな。授業にはついていけるかな。心配ばかりしていたのは私の方でした。あなたは、ケロっとした顔をして「ただいま」と、今日どうだった？友達は出来た？と質問攻めの私に対して、「大丈夫！この一言で私は不安が安心に変わり、この学校を選んだことを本当に良かったと思いました。学校で学んだことを糧に、未来に向かって大きく飛躍することを期待しています。

先生方、御指導いただき、本当にありがとうございます。

い卒業おめでとう

いじめます

四年生保護者

入学した当時は、これから四年間の学校生活は大丈夫かな？と心配でした。一年生の頃はまだコロナの影響が残っていたのか、部活もほとんどできませんでした。食品加工室「MVP」が設置されてからは実習活動が忙しくなりました。農業科が栽培した野菜を使っ

て家政科が調理、販売すると毎回すぐに売り切れになり、たくさんのお客様に「美味しい」と言ってもらえましたね。恥ずかしがり屋だった我が子も販売実習を重ねていくことにより、人との接し方も上手になってきました。文化祭、体育祭など様々な行事に行かせていただき、学年を問わず仲良く協力している姿を見て本当に三和分校に来てよかったと思いました。

卒業後の進路を決める時、自分のこの道に進みたいと言い出し、アルバイトも始めましたね。まだまだ子どもだと思っていたのに親元を離れていく日が近づいていることを感じました。この先、楽しいこと、つまずくこともあると思うけれど自分の意思をしっかりとって、一歩一歩前へ進んでください。最後になりましたが、先生方には生徒一人一人を丁寧に御指導いただき本当にありがとうございます。

各種表彰

・全国高等学校定時制

通信制教育振興会表彰

佐々木 奨 大田 亜美

・産業教育振興会中央会会長表彰

鳥淵 篤司 上田 観菜

・全国農業高等学校校長協会表彰
鳥淵 篤司

・京都府産業教育振興会会長表彰
鈴木 恒真 芦田 恵弥子

・京都府立高等学校
職業に関する専門学科生徒
京都府教育委員会教育長表彰
鳥淵 篤司 芦田 恵弥子
上田 観菜 大田 亜美

資格取得の状況

2月19日までの判明分

・全国高等学校家庭科
被服製作技術検定三級

四方 璃音

被服製作技術検定四級

四方 剛 高木 結星

・全国高等学校家庭科保育技術検定
造形表現技術検定四級

向井 なな

諸活動より

令和6年度生徒総会

令和7年度新生徒会役員選挙

1月19日、体育館で生徒総会を行いました。生徒会役員が今年度の行事報告や会計報告を行い、1年間の活動を振り返りました。

総会後に、令和7年度生徒会役員選挙を行い、各候補者が立会演説会で、活動に向けた抱負をしっかりと語りました。

その後の信任投票で、全員が信任され、令和7年度に向けた生徒会が発足しました。

令和7年度生徒会役員

◇会長	山口 希硬
◇副会長	大隅 翔太
◇議長	池田 竜介
◇書記	上田 真緒
◇総務	松浦 なぎ
◇会計	細野 大翔
	朝日 慎也
	野口 莉央

3学期のフォトアルバム

京都フロンティア校

研究成果発表会

2月2日（日）、

京都建築大学校

（南丹市園部町）

で開催された、京

都フロンティア校

研究成果発表会に

て、農業科がブレ

ゼンテーション発

表を行いました。



学習発表会



2月8日（土）、

今年度の農業科・家

政科の課題研究、ト

ライの研究成果を、

プレゼンテーション、

ポスターセッション、

展示等の方法で、発

表しました。



「みわ分校だより」は白黒印刷版を生徒配布しています。カラー印刷版は、学校ホームページの「みわ分校だより」からご覧になれますので、ご利用ください。

三和分校HP二次元コード



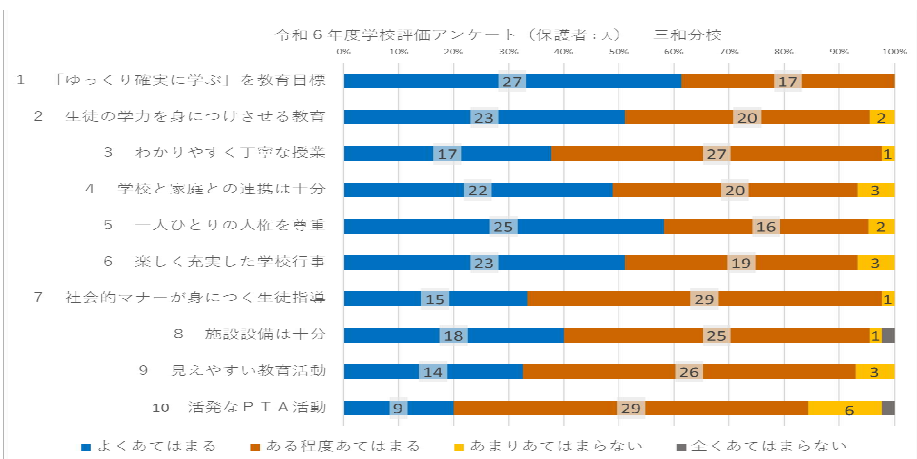
第2回PTA総会の報告

2月8日（土）、第2回PTA総会を開催しました。その結果、提案された議案についてはすべて承認をいただきました。この結果を基に今後PTA活動を行っていきます。引き続きご協力をお願いします。

なお、PTA総会に先立って行われた役員会で、PTA総会の際に、「各学年の学年通信を交流してほしい」との御要望をいただき、総会に出席頂いた会員様に配付いたしました。

学校評価アンケートより

昨年12月に保護者の皆さまに学校評価アンケートをお願いし、44名の方から回答がありました。御協力ありがとうございました。本年度のアンケートの集約結果をグラフにて報告させていただきます。



全体としては、大半の項目で肯定的意見が9割以上を占めており、私どもにとりましては日々の教育活動への励みとなりました。特に高評価の項目は、「1 ゆっくり確実に学ぶ教育目標」「2 生徒の学力を身につけさせる教育」「3 わかりやすく丁寧な授業」「5 一人ひとりの人格を尊重」「7 社会的マナーが身につく生徒指導」でした。本年度も引き続き、ホームページや「みわ分校だより」を通じて、日々の教育活動の様子の紹介を中心に発行しました。

また、「10 活発なPTA活動」については、記述欄に、さらなる活性化を望まれる意見もありました。PTA役員会でも、会員の皆様の積極的な活動参加について、御検討いただいているところですが、会員の皆様からも、積極的な参加につながる活動等のアイデアがございましたら、是非三和分校PTA担当までお寄せください。

その他、記述欄では、学校生活における率直な御意見や御感想をいただきました。同時に、生徒に対しても学校評価アンケートを実施しております（質問項目は一部異なります）。これらの結果を今後の教育活動に生かし、本校の教育がさらに充実したものを目指し努力してまいります。今後とも、御理解・御協力をどうぞよろしくお願いいたします。